

マイスマールランド

無料
上映会

市民活動総合情報誌「ウォロ」連動企画

えま 川和田恵真監督がオンライン登壇！

●2023年12月20日(水) 定員60人(事前申し込み制)

開場 18:00 上映 18:30~20:30 監督登壇 20:30~21:00

会場 毎日文化センター 大阪市北区梅田3-4-5毎日新聞ビル3階

●申し込み 大阪ボランティア協会ホームページ(QRコード)



●お問い合わせ 06-6809-4901

<あらすじ>

幼い頃から日本で育った17歳のクルド人・サーリヤ。

ある日、家族の難民申請が不認定となり、これまでの日常が一変する。

埼玉に住むサーリヤは、進学のため父に黙って始めたバイト先で出会った、

東京の高校に通う聡太と自由に会うこともできなくなる……。

ここに居たいと
願うことは
罪ですか？

© 2022 「マイスマールランド」製作委員会



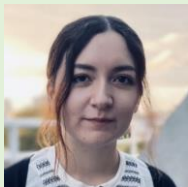
主催：社会福祉法人大阪ボランティア協会

公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 関西連絡会

AMNESTY
INTERNATIONAL 

映画「マイスマールランド」について

主人公サーリヤを、5カ国のルーツを持ち、ViViモデルとして活躍する嵐莉菜が演じ、サーリヤが心を開く少年・聡太を注目の俳優・奥平大兼が演じる。是枝裕和監督率いる映像制作者集団「分福」の川和田恵真監督の長編デビュー作。『万引き家族』×『ドライブ・マイ・カー』のスタッフが贈る、国境を越え胸に響く感動作。（「マイスマールランド」オフィシャルサイトから引用）



川和田恵真監督

2014年に映像作品の企画・制作・プロデュースなどを手がける株式会社分福に所属し、是枝裕和監督作品等で監督助手を務める。2022年、商業長編映画デビューとなる「マイスマールランド」が第72回ベルリン国際映画祭に出品され、アムネスティ国際映画祭スペシャルメンションを授与された。

第27回新藤兼人賞銀賞、おおさかシネマフェスティバル2023新人監督賞、第32回日本映画プロフェッショナル大賞新人監督賞など多数受賞。

人権から考える外国人の収容問題とは？

2021年3月、スリランカ国籍の女性が名古屋の入管施設で亡くなりました。1997年から、確認できるだけでも17人の外国人が日本の入管施設で亡くなっています。

そんな入管施設に収容されているのは、日本の

在留資格を失った外国人です。収容された人の99%は間もなく帰国しているのですが、理由があって帰国できない人たちもいます。

帰国できない理由は、子どもが日本で生まれ育った、自国の迫害から逃げてきた、自国への入国を拒否されているなどさまざま。入管施設は本来、送還するまでの間だけ一時的に収容するための場所です。にもかかわらず、帰国できずに収容されている外国人の約半分は、半年以上の長期に渡って収容されています。最近ニュースでよく聞く、外国人の収容問題。実は20年以上も前からずっと、そこでは人権が守られていないと国連から批判されていました。その背景には、問題だらけの法律とその運用があります。

在留資格のない人は全員施設に収容するのが前提で、収容期限に上限はなく、収容に関する決定は、裁判所ではなく入管庁が行っています。

「身体的自由」を無期限に奪う権限を、司法ではなく、行政機関が持っているのです。

人権は、国籍や在留資格で差別されることなく守られるべきもの。入管庁などの国家機関が、好き勝手に自由を奪ってはいけない。これは世界人権宣言をはじめとする世界のルールです。

（アムネスティ日本のHPから引用）

アムネスティ・インターナショナルとは？

すべての人が世界人権宣言にうたわれている人権を享受でき、人間らしく生きることのできる世界の実現をめざして活動しているNGOです。詳しくはホームページでどうぞ。

<http://www.amnesty.or.jp>

ボランティア、市民活動をもう一步深く

市民活動総合情報誌「ウォロ」



ぜひ、ご購入ください！

◆ 定期購読料

* 誌面購読：3,600円

* PDF購読：3,000円

※ 年6冊発行。送料無料。1冊でも購入可（1冊650円）

※ PDF購読はデータ送付のみ、冊子は送付しません。

2023年6・7月号

立ち読みページ →



定期購読

申し込みページ →



<地図>



上映会場：毎日文化センター

大阪市北区梅3-4-5 毎日新聞ビル3階

- ・JR 大阪駅桜橋口、地下鉄西梅田駅から徒歩約8分
- ・JR 福島駅、阪神福島駅から徒歩約5分



上映会の運営、およびチラシの作成の一部は、NHK 歳末たすけあい助成金を受けて実施しています。